

2025 年 9 月 21 日午前 10 時 30 分
聖霊降臨節第 14 主日 主日礼拝(恵老礼拝)
司会 畠中祥世
奏楽 金井文子

讃美歌・詩編交読・信仰告白では起立をしますが、
お立ちになりにくい方は、座ったままでどうぞ。

(平和のあいさつ)
前 奏
招きのことば 伝道の書 (旧口語訳) 3:10-11
讃美歌 旧 501 「いのちのみことば」 一 同
交読詩編 90:1-12(P.104/100)

祈 り 司会者
《関東教区お祈りカレンダー》
益子教会 小山教会 水戸教会
(主の祈り)

讃美歌 旧 393「神のひかりは」 一 同

聖 書 新約:マタイ 6:5-13(P.9)

メッセージ『最後に残る祈り』
祈 り 川上 盾 牧師

讃美歌 旧 308「祈りは口より」 一 同

献 金 一 同
(献金感謝の祈り)

信仰告白(シン・ボス) 一 同

頌 栄 旧 542
祝 祷 川上 盾 牧師
後 奏
報告・紹介
(CSより恵老者へのプレゼント贈呈)

＜招きのことば＞ 伝道の書 (旧口語訳) 3:10-11
わたしは神が人の子らに与えて、ほね
おらせられる仕事を見た。神のなされるこ
とは皆その時にかなって美しい。神はまた
人の心に永遠を思う思いを授けられ
た。それでもなお、人は神のなされるわざ
を初めから終わりまで見きわめることはで
きない。

《9月礼拝当番》 徳島恵子 畠中祥世
岸 久美子 野村敏子
野村竜也 服部直子

《今週の集会・行事》
◎ 本日礼拝後 恵老愛餐会
◎ 本日 15:00 群馬地区委員会(安中教会)
◎ 22 日(月) 地区教師会(高崎南教会)
◎ 24 日(水) 牧師、共愛小学校礼拝
◎ 24 日(水) 午後 オルガン練習 (12/6 リハーサル)
◎ 25 日(木) 午前 消防署立ち入り検査
◎ 27 日(土) 10:00 会堂清掃 D組

《次週の主日》
◎主日礼拝 10:30
メッセージ『ゆるすことによってゆるされ』
聖書:新約:創世記 45:1-8(P.81)
新約:マタイ 18:21-35(P.35)
讃美歌 10(1,3,5,6), 129, 499, 208(3)
交読詩編 15:1-5(P.19/15)
司会:奈良正太郎 奏楽:徳江由利
◎ CS 午後礼拝 13:00 スタッフ会議

《予 告》
◎ 聖研祈禱会 10/1(水) 10:30 & 19:30
◎ 世界聖餐日礼拝 10/5(日) 10:30
◎ 10 月定例役員会 10/5(日) 礼拝後

《 報 告 》
◎ 本日は恵老礼拝です
75 歳以上の方々に神さまの祝福を祈る礼拝
です。礼拝後は 2 F ホールで恵老愛餐会です。
75 歳以上ご招待、それ以外は会費 300 円です。
今年の恵老祝福者は木戸恵美子さん・藤岡純
子さんです。愛餐会では祝福者の愛唱歌やゲ
ームなどして楽しみます。
◎ 9 月役員会報告 (抄)
1. カラコンの反省 … 役割分担がはっきりしてい
なかった。“開催慣れ”による“ゆるみ”があった。
2. 恵老礼拝に関する件 … CSから恵老者(75 歳
以上)へのプレゼントを贈る。愛餐会では恵老祝
福者の愛唱歌を中心にみんなで歌う。
3. 世界聖餐日礼拝(10/5)に関する件 … 川上牧
師が前日に出張から飛行機で帰宅の予定。万が
一欠航の時のために、ビデオメッセージを用意す
る。またその場合、聖餐式は中止とする。
4. 創立 140 周年に向けての取り組み … ①創立
記念日礼拝(7/12):大賀幸一牧師(京都丸太町教
会)にメッセージを依頼。②記念行事・イベント:
8/31 のカラコンの話し合いを元に企画を立ち上げ
る。③140 年記念誌:10 年間のまとめを、特筆す
べきトピックに分けて執筆する。担当者(伊藤愛・
畠中)だけでなく、複数の執筆候補者を交渉・依
頼する。④記念募金:募集するか、今後検討する。
5. 教会屋根改修に関する件 … 今後の雨漏り
につながる損傷が発見され、見積もりを依頼した。
完ぺきな工事をする、と、800 万円ほどが必要となる。
財務委員で引き続き検討する。(注:その後、財務
委員による話し合いが行われ、今回は最低限の
修繕にとどめ、数年内に資金繰りの対策を立てて
から改めて改修計画に取り組むこととなった。)
6. 転入会・幼児洗礼希望者に関する件 … 松橋
頌さんの転入、松橋咲良ちゃんの幼児洗礼希望
が出されており、これを承認し、10/26 に執行する。
(文責=川上)

《先週の集会》				
	ジュニア	シニア	おが大人	計
C S 朝礼拝	6	0	16	22
	礼拝堂	オンライン	献 金	
主 日 礼 拝	43	15	31,663	
婦人会例会	13			

《メッセージ》「究極の希望」 石田 透 牧師(甘楽教会)
マタイ 13:44-52、第 1 コリント 15:35-52(9 月 14 日)
▼パウロは「信仰と希望と愛、この三つはいつまでも残
る」(1コリント 13:13)と言いました。どんな困難な状況に在っ
ても「信仰と希望と愛」が私たちを支えるのです。▼「天
の国は次のようにたとえられる。畑に宝が隠されている。
見つけた人はそのまじ隠しておき、喜びながら帰り、持
ち物をすっかり売り払ってその畑を買う。また天の国は
次のようにたとえられる。商人が良い真珠を探している。
高価な真珠の一つを見つけると、出かけて行って持ち物を
すっかり売り払い、それを買う。』(マタイ 13:44-46)とイエ
スさまは言いました。天の国はあれもこれも自分のものと
し、最後に総仕上げとして何某かを我が手にするような
世界ではないのです。▼むしろ逆です。喜んで全てを
売り払って、そのかわりにたった一つの何かを手に入れ
る、そのような世界です。全てを売り払ってまで手に入れ
たいような世界、またそのような恵みとは一体何なのだし
ょうか。▼パウロはその「究極の希望」とは何であるかを
伝えるために熱心に手紙を書きました。イエスさまが復
活されたというその事実が全ての人々の希望となり、生
きる根拠となったのだとパウロは語ります。▼聖書には至
るところにイエスさまの復活に関する記事が記されていま
す。教会に集う私たちはその記事をいつも目にします。
でも「永遠の命」を信じているにもかかわらず、私たちの
現実には平安と喜びに満たされていないことが多いので
す。▼パウロは「キリストは死者の中から復活した、と宣べ
伝えられているのに、あなたがたの中のある者が、死者
の復活などないと言っているのはどういふわけですか」
(15:12)と言いました。ここには「キリストと私」の関係が描
かれています。「あなた自身はどうなのか」とパウロは鋭く
問うのです。▼イエスさまの復活の話を何回聞いても私
たちはやがて死んでいきます。愛する者が天に召された
時、私たちは親しき者の復活を心から祈ります。しかし息
の切れた死せる者は再び息を吹き返すことはありません。
▼私たちは悲しみのあまり懐疑的になり、心の中でつぶ
やきます。「愛する者がいなくなってしまう。教会に来
ても病気をするし、仕事や家庭が全てうまくいくわけでは
ない。いろいろなものを失っていくのだ。信仰など持たなく
てもいいのかもしれない」。私たちは、イエスさまが存在
の全てをかけて伝えようとした「希望」を、悲しみと不安
の中で簡単に手放そうとしてしまうのです。▼しかし主
にある希望は私たちの思いを超えて深いのです。私たち
にとつての「究極の希望」の根拠としての、主イエスキリ
ストの十字架と復活。その何物にもかえがたい、決定的な
知らせを聞きながらも私たちはすぐにには喜ばず、すぐに
は希望を抱くことができません。でもイエスさまは私たち
全てのものを真の喜びへと導くその決定的な知らせを携
えて、確かに私たちのこの世界に来てくださり、今も私た
ちの傍らに立っていてくださるのです。(地区講壇交換)